

環境と健康の視点から 取り組むESD

持続可能な開発のための教育（ESD）、それは、人類が現在の生活レベルを維持しながら、次世代を含むすべての人々により質の高い生活をもたらすことができる状態での開発を目指すために求められている地球市民育成教育です。この教育の範囲は、環境、福祉、平和、開発、子どもの人権教育、国際理解教育、貧困撲滅、感染症予防教育など多岐にわたるものです。このフォーラムでは特に「環境と健康」の視点からESDの実現を目指している取り組みを通して今後の方向性を探ります。

日時：平成20年11月16日 ⑨ 9:00～16:00
会場：山口県立大学 講堂（桜圃会館）

入場無料

一般参加も歓迎します。事前申込をしてください。

基調講演

9:10～10:30

「地球環境問題と科学コミュニケーションの課題」

山本 良一 氏（東京大学生産技術研究所 教授）

パネルディスカッション

10:30～12:00

「大学における環境・健康教育に求められるものとは？」

パネリスト：

山本 良一 氏（東京大学教授）

末本 誠 氏（神戸大学教授）

鬼頭 宏 氏（上智大学教授）

金内 雅夫 氏（畿央大学教授）

調 恒明 氏（山口環境保健センター所長）

長坂 祐二 氏（山口県立大学教授）

事例報告

13:30～16:00

- 1 アクション・リサーチ型ESDの開発と推進** 末本 誠 氏（神戸大学教授）
- 2 グローバル社会における環境リテラシー教育** 鬼頭 宏 氏（上智大学教授）
- 3 持続可能な社会に繋がる人的財産の育成** 溝手 朝子 氏（山口県立大学教授）
- 4 健康で規則正しい生活が勉強する学生を創る** 金内 雅夫 氏（畿央大学教授）
- 5 行動変容を促進する栄養指導法を身につける
栄養士キャリアアップ支援プログラムの開発** 長坂 祐二 氏（山口県立大学教授）